

2025年度（令和7年度）

（公社）日本建築士会連合会の取組み報告

2026/03/24

公益社団法人 日本建築士会連合会

情報広報委員会 情報部会

BIMマネージャー・コーディネーターテキスト作成部会

部会長 大石佳知（岐阜県建築士会）

2025年度（令和7年度）

（公社）日本建築士会連合会の取組み報告

2025年度（令和7年度）活動内容

■目的

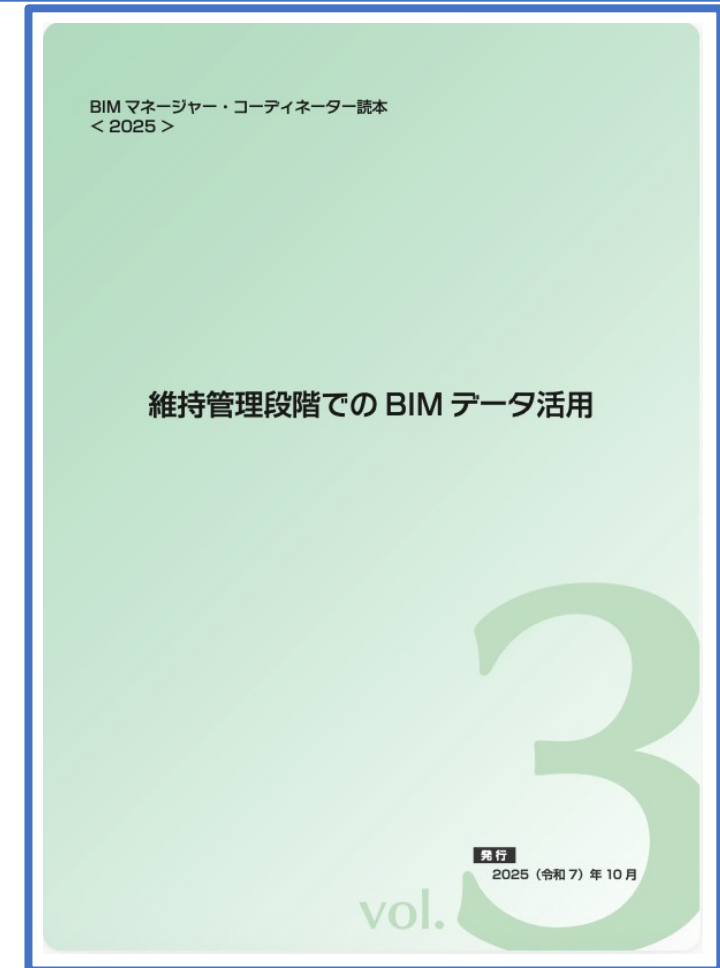
- 建築DX/GX推進の一環としてBIM活用を組織運用段階へ展開
- BIMマネージャー／コーディネーター人材育成

■実施

- テキスト維持管理編の作成
- 全国12会場における対面セミナーの実施
- 設計から維持管理までのBIM活用を体系的に共有

2023年度（令和5年度）

日本建築士会連合会の取組み報告



今年度は第3部の維持管理段階でのBIMデータ活用を追補

2025年度（令和7年度） （公社）日本建築士会連合会の取組み報告



（公社）日本建築士会連合会BIMポータルサイト
<https://kenchikushikai-bim.org/>



2025年度（令和7年度）

（公社）日本建築士会連合会の取組み報告

■セミナー構成

• 第1部

BIM導入を検討している者、または本格的な活用を目指す者を対象に、BIMの基礎および導入・活用の方向性について解説

• 第2部

組織内のBIM環境整備や、建築情報を活用した業務プロセスの構築に取り組む実務者を対象に、マネジメント手法等について解説

• 第3部

BIMの維持管理・運用段階への活用に関心を有する者、発注者・ビルメンテナンส์事業者等を対象に、ライフサイクルを通じた利活用について解説

2025年度（令和7年度） （公社）日本建築士会連合会の取組み報告

	仙台会場	東京会場	横浜会場	札幌会場	金沢会場	大阪会場	京都会場	名古屋会場	広島会場	香川会場	沖縄会場	福岡会場	
開催日時	2025/10/6 月	2025/10/9 木	2025/10/2 0月	2025/11/7 金	2025/11/1 2水	2025/11/1 7月	2025/11/2 0木	2025/11/2 1金	2025/12/3 水	2025/12/4 木	2025/12/1 5月	2025/12/1 7水	
申込人数	60名	124名	86名	56名	83名	100名	84名	82名	100名	78名	73名	106名	計1032名
会場名・ 部屋名	宮城県建設 業国民健康 保険組合会 館6階大会 議室	建築会館 ホール	神奈川県建 設会館講 堂	北海道自 治労会館3 階中ホール	石川県地場 産業振興セ ンター本 館2階第 2研修室	大阪府建築 健保会館 6階ホール	Y I C 京都 3号館8 階384 教室	愛知建築士 会会議室	広島県立総 合体育館 (グリーン アリーナ) 地下1階 大会議室	サンメッセ 香川大会 議室	沖縄産業支 援セン ター・大会 議室	天神チクモ クビル大 ホール	
協力 建築士会	宮城士会	連合会	神奈川士会	北海道士会	石川士会	大阪士会	京都市会	愛知士会	広島士会	香川士会	沖縄士会	福岡士会	



東京会場



広島会場



横浜会場



福岡会場

2025年度（令和7年度）

（公社）日本建築士会連合会の取組み報告

・アンケート結果

本年度実施した「BIMマネージャー・コーディネーター育成セミナー＋維持管理」は、建築分野におけるGX・DX推進を背景に、BIMを単なるモデリング技術にとどめず、**組織的運用・マネジメントへ発展させること**を目的として実施した。

全国12会場で計383件の有効回答を得たアンケート結果から、以下の点が明らかになった。

2025年度（令和7年度）

（公社）日本建築士会連合会の取組み報告

1. 事業の成果と参加者の傾向

- 回答者の7割超が30～50代の実務中核層で、**すでにBIM活用に関与している層の課題意識**が反映された結果となった。
- 各部の理解度は、平均2.1未満（5段階評価、1が最高値）と高く、特に「情報マネジメント」「BIMマネージャーの役割」を扱った第二部の理解度が高い。
- 第三部の維持管理BIMは難易度が高いテーマであるにもかかわらず、一定の理解が得られた。

2. 理解度の構造と学習ニーズ

- 世代による理解度の差は小さく、**幅広い層に適切な難易度のセミナー構成**であった。
- 理解が深まったことにより、「導入戦略」「組織運用」「人材育成」「維持管理データ活用」など、**より実践的・具体的な学習ニーズ**が高まっている。
- 自社の運用の属人性や情報管理の課題に気づく参加者も多く、セミナーが**意識変革の契機**となった。

2025年度（令和7年度）

（公社）日本建築士会連合会の取組み報告

3. 業務との関連性と評価

- 「最も業務に関連した」との回答が最も多かったのは第二部（マネジメント領域）。
- BIM活用の課題が「技術」から「運用・マネジメント」へ移行している実態が浮き彫りになった。
- セミナー全体評価は平均1.73（5段階評価、1が最高値）と高く、本事業が**実務価値の高い内容であった**と評価されている。

4. 回答バイアスを踏まえた示唆

- 有効回答率は4割弱であり、理解度の高い層に回答が偏った可能性がある。
- 一方で、「難しかった」「ついていけなかった」という層も一定数存在。
- BIMは導入～運用～マネジメントと成熟度が幅広く、**単一セミナーでは全層をカバーできない構造的課題**が確認された。

2025年度（令和7年度）

（公社）日本建築士会連合会の取組み報告

次年度へ向けた取組み（検討中）

- ・今年度と同規模の講習事業の実施および修了者の公表（希望者に限る）
- ・都道府県建築士会におけるBIM関係活動への支援
- ・BIM図面審査に対応できる人材の育成およびフォローアップ

2025年度（令和7年度）

（公社）日本建築士会連合会の取組み報告

テキスト作成部会メンバー ◎：主査

- ◎大石 佳知（公社）日本建築士会連合会 情報部会長 / （有）アーキ・キューブ
- 吉田 浩司 // 青年委員会 委員長 / （株）ixrea
- 安野 芳彦 // BIMTF部会長 / （株）梓設計 / （株）梓総合研究所
- 日高 陽子（株）梓設計
- 松澤 亮（株）梓設計
- 尾畑 貴司（株）パブリッチデザイン

オブザーバー

- 泉 昌一郎 オートデスク（株）
- 佐藤 和孝 ベクターワークスジャパン（株）
- 志茂 るみ子 グラフィソフトジャパン（株）
- 野路 皓平 福井コンピュータアーキテクト（株）

2025年度（令和7年度）

（公社）日本建築士会連合会の取組み報告

• 2026/03/24

－ ご清聴ありがとうございました－

公益社団法人日本建築士会連合会

情報広報委員会 情報部会

BIMマネージャー・コーディネーターテキスト作成部会

部会長 大石佳知（岐阜県建築士会）